

★前進座歌舞伎公演

名作落語を元に山田監督が書き下ろし

劇場が揺れるほどの笑いで大評判を呼んだ舞台が
さらに可笑しくパワフルに！

山田洋次 監修・脚本

落語「らくだ」「井戸の茶碗」より

裏長屋 騒動記

— うらながやそうどうき —

絶対的庶民目線で

いっぱいの笑いとおちよびりの苦み

幸せを運ぶ怒涛の喜劇ふたたび

2025年

5月30日 金 / 6月8日 日

東京・池袋 サンシャイン劇場



前進座歌舞伎公演

山田洋次監督・脚本

裏長屋騒動記

落語「らくだ」井戸の茶碗より——うらながやそうとうき——

演出 小野文隆
装置 乗峯雅寛
照明 桜井真澄
音楽 柁屋勝彦
舞台 中橋耕史

山田監督と前進座による創作歌舞伎として二〇一七年に国立劇場で初演された当時は、底抜けの可笑しさで庶民の哀歓を伝えて感動を呼びました。「魚屋宗五郎」「寅さん」などをしのばせる遊び心、工夫された長唄・鳴物の音楽、俳優たちの大奮闘により、誰もが楽しめる歌舞伎世話物として大好評をいただきました。今回は、松竹新喜劇の曾我廼家寛太郎さんをゲストに迎え、「上方から来たらくだの馬」が、江戸の裏長屋にいつそうの騒ぎを巻き起こします。配役も一新、さらに創意と工夫を重ね、賑やかに楽しい「新」『裏長屋騒動記』をお届けします。

「ものがたり」屑屋の久六（柳生）は、裏長屋の浪人朴斎（武井）と娘お文（松宮）から、古い仏像を買付けます。この仏像を若侍左衛門（有之祐）に売ったところ、仏像の中から大金五十両が！ところが朴斎も左衛門も自分の金ではないと頑として受け取らず、五十両を持たされたまま久六の良心は大ピンチ！同じ裏長屋の嫌われ者、上方から来たらくだの馬（寛太郎）は日々悪態をつき、ついには奪ったフグにあたつて死んでしまいます。兄貴分の半次（芳三郎）は引いたために久六を巻き込んで大家の家に乗り込み、目を覆う大騒動に……。そんなある日、左衛門は藩主綱正（國太郎）に呼び出され……。



山田監督と前進座

山田監督にとって郷里の山口にいた頃から前進座は憧れの劇団。大学時代には前進座製作の独立プロ映画『箱根風雲録』にエキストラで参加したことも。その後、監督のいくつもの映画に前進座の俳優たちが出演。いつか一緒に舞台をと長年願っていたものが、『裏長屋騒動記』で実現。さらに第二作『万石の恋』と続く。前進座には本当に笑える楽しい喜劇を、という監督の思いとともに、この度も奮闘努力いたします。

らくだの馬
曾我廼家寛太郎
(松竹新喜劇)

「そがのやかんたろう」上方喜劇の王道を往く舞台俳優。氷川きよし、純烈などの大劇場公演でも引っ張りだこ。NHK「おちよやん」「プギウギ」の好演も記憶に新しい。

千代田朴斎
武井 茂

藩主赤井綱正
河原崎國太郎

朴斎の娘 お文
松宮美菜

高木作左衛門
玉浦有之祐

緋鯉の半次
嵐芳三郎

屑屋久六
柳生啓介

益城孝次郎

山崎辰三郎

石嶋隆生

山本春美

松永 瑠

藤井偉策

渡会元之

黒河内雅子

江林智施

松涛喜八郎

〔前進座〕昭和6年(1931)に若き歌舞伎俳優たちによって創立。2025年に94周年。歌舞伎をレパートリーに持つ貴重な劇団として知られ、伝統を現代に生かす演劇創造を目指して歩んでいます。

2025年 5月30日(金)～6月8日(日) 東京・池袋 サンシャイン劇場

●観劇料金【全席指定・税込】

一等席—10,500円
二等席—6,000円
三等席—4,000円
特等席—12,000円(限定24席)

夜の部特別料金
◆6月6日(金)18:30
一等席 6,000円
二等席 3,000円
(この回限定の席種)

2025年	5/30 金	5/31 土	6/1 日	6/2 月	6/3 火	6/4 水	6/5 木	6/6 金	6/7 土	6/8 日
午前	11:00	11:00	11:00						11:00	
午後	15:30	15:30	★15:30	貸切	13:30	13:30	貸切	貸切	貸切	13:30
夜								◆18:30		

【公演全般お問い合わせ】前進座 0422-49-2811

★6/1(日)15:30 終演後 寛太郎さん+前進座俳優によるアフタートーク開催(参加無料) 上演時間 約3時間(休憩含)

東京土建統一観劇会

6月1日(日) 15:30 開演の部

【池袋・サンシャイン劇場】

一等席:7,000円 ※他日も同料金

定価 10,500 円のところ
友の会料金に共済会補助がついて

6月1日(日)終演後、出演者参加の 交流会開催！

★6日(金)18:30の部に限り 一等席:6,000円

お問合せ・お申込みは各支部厚生文化部へ

東京土建組合員家族のみなさん
前進座友の会会員のみなさん
こんにちは
東京土建本部厚生文化部長の小坂剛です。

2025年の6月公演は、あの山田洋次監督が監督・脚本の『裏長屋騒動記』です。池袋サンシャイン劇場(豊島区東池袋3-1-4)での公演となります。

今回の上演は、松竹新喜劇の曾我廼家寛太郎さんをゲストに迎え「上方から来た「らくだの馬」が、江戸の裏長屋にいつそうの騒ぎを巻き起こします。山田監督が台本を練り直し、配役も一新、さらに賑やかにさらに楽しい、「新」『裏長屋騒動記』になっています。

今回の観劇目標は、全都で200人とさせていただきました。支部での取り組みの目安として、支部厚生文化部会や支部執行委員会でご確認いただき、多くの仲間への声かけをお願いします。

サンシャイン劇場で、前進座を多くのみなさんで楽しみましょう。お待ちしております。

